

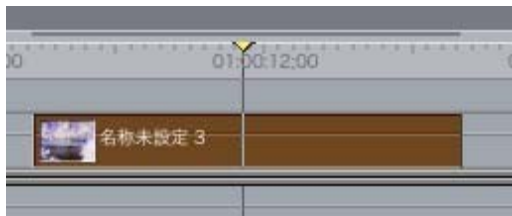
FxScript Trial

MultiMove2+

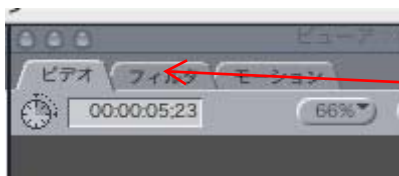
- ・ フィルターの設定
- ・ プラグの機能
- ・ ナビゲーション機能の解説

Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

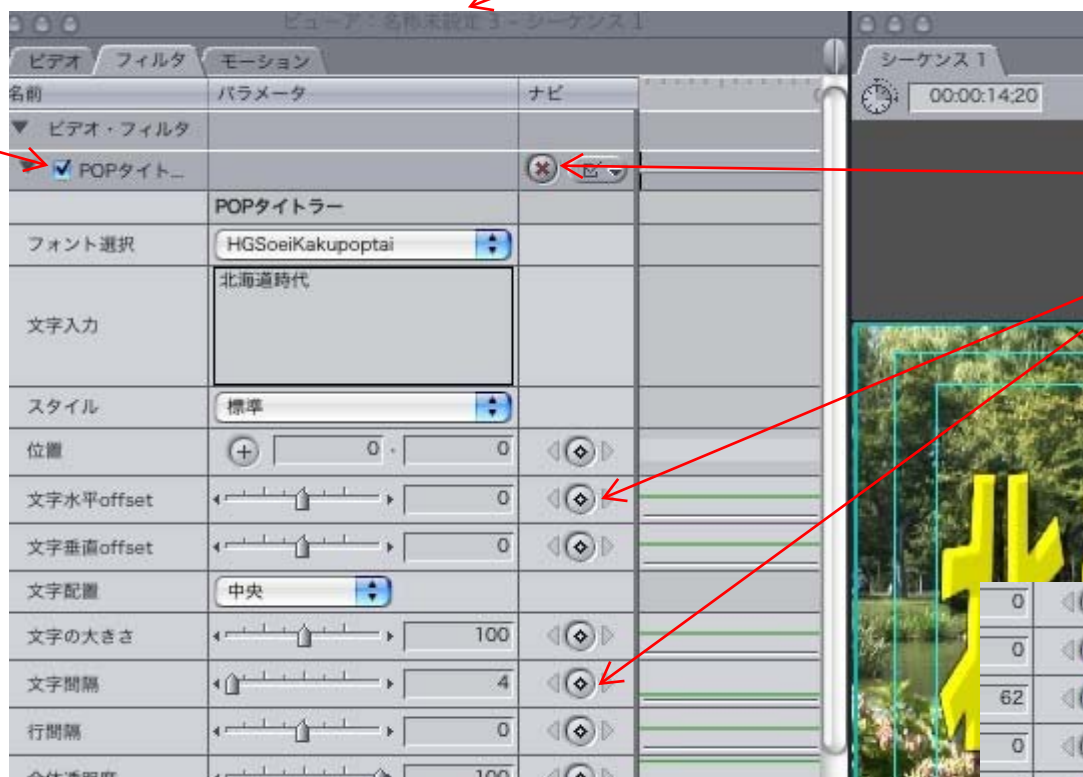


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる



ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

項目ごとに設定

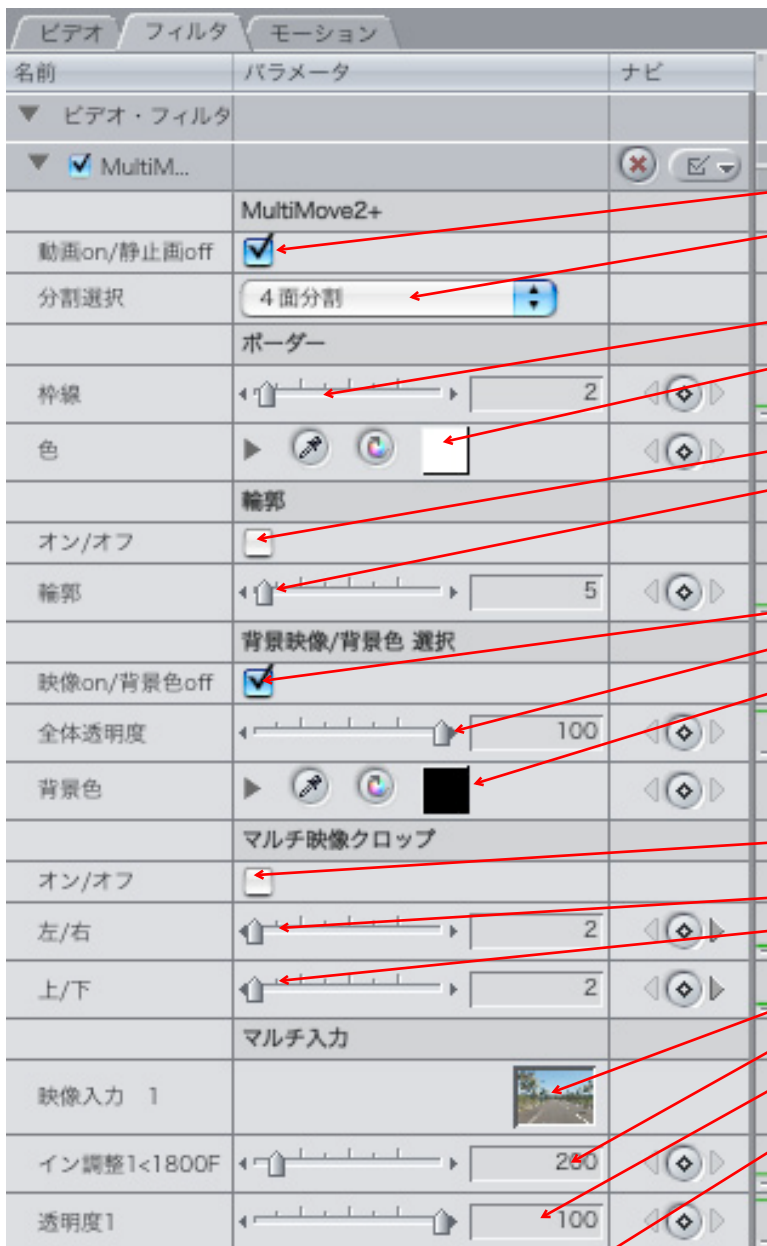
シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変わる。



画像に設定されたプラグ

MultiMove2+

マルチムーブ2+の最大の特徴は4面,9面,16面,25面,36面の独立した動画画面を同時処理する事が可能です。最大36の動画入力ポートがあり動画オフセットや透明度を個別に設定が可能です。



動画と静止画のチェック（通常はチェック） 静止画にすると全部静止画になる。動画分割の設定（4面,9面,16面,25面,36面）が出来る。

分割画面のボーダー幅の設定
ボーダーの色設定

輪郭設定
輪郭度の設定

デモご購入はココをクリック

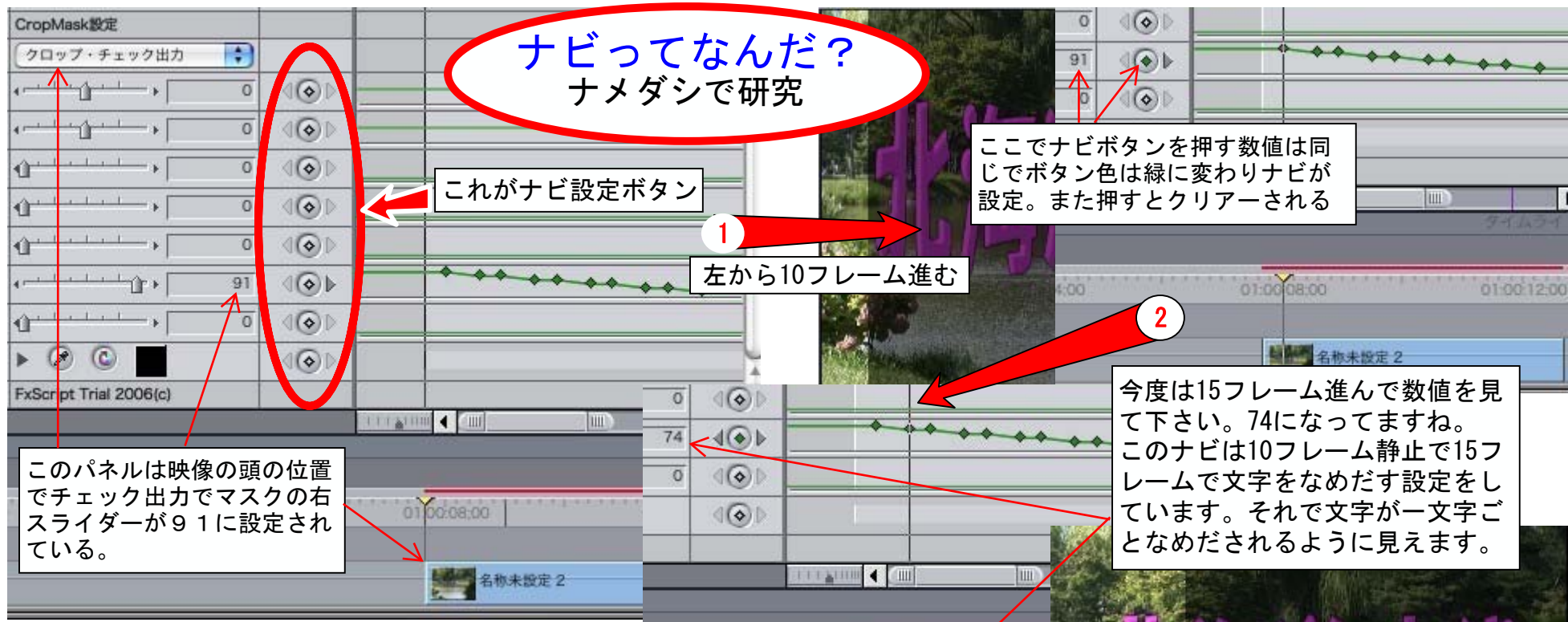
プラグを被せる下地映像か背景色の切り替え設定
下地に対する全体の透明度設定
背景色設定時の色設定

クロップは下地と分割画面の全体設定と個々の分割画面に対する設定が連動した効果として出力されます。（デモ映像を参照してください）

左右クロップの設定
上下クロップの設定

映像入力の1
入力点の1分（1800フレーム）までのオフセット設定が可能
個々の透明度の設定

マルチ入力は1しか見えていませんが以下36までの入力が下方まであります。
入力数字に従って左から右に動画の位置が決定されます。



ナビってなんだ？
ナメダシで研究

これがナビ設定ボタン

ここでナビボタンを押す数値は同じでボタン色は緑に変わりナビが設定。また押すとクリアされる

1
左から10フレーム進む

2

今度は15フレーム進んで数値を見て下さい。74になってますね。このナビは10フレーム静止で15フレームで文字をなめだす設定をしています。それで文字が一文字ごとなめだされるように見えます。

このパネルは映像の頭の位置でチェック出力でマスクの右スライダーが91に設定されている。

右のタイミングをそのまま進めて最後の一文字まで行った設定。数値が24.5まで変化しているのがわかります。

3

デモ映像を見る
クリック



ナビゲーションの説明

ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます。設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見ることが出来るようになります。

フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。

